

季節は夏から秋へと移っていく。長月、9月に入った。相変わらず、毎日、この原稿を考えている。それと同時に、いつも読者のことを考えている。

No.1からずっと読んでもらっている高校の校長先生がいる。自分が逆の立場だったら、同じことはできない。毎日、書くことはできても、読むことはできない。すごいと思う。毎日、多忙を極めているはずなのに、毎朝、読んでから仕事を始める先生がいる。折にふれ、コメントをいただけるのが心強い。

夕方になり仕事が一段落してから読む事務の先生がいる。今は、違う職場となったが、今でも読んでいただいているのだろうか。親子で読んでくれる事務の先生がいる。大学生の娘さんには、ファンになってもらえたようだ。学級通信「家族」を毎週出している先生も読んでくれている。この先生がつくる紙面があたたかい。現在、勤務している野田中学校の先生方にも読んでもらっている。たまに、コメントをいただくことがある。

仕事のことで野田中学校と関わるようになり、読んでもらえるようになった先生がいる。お会いしたら、次から次へこの紙面のことが出てくる。すごいと思った。昔、同じ職場で働き、今は、学校評議員としてお世話になっている方がいる。この方も、この紙面のことがすぐに出てくる。毎日、熱心に読んでもらっている保護者がいる。この方も、この内容のことで話に花が咲く。以前、掲載した「カウンターのイス続編」の方である。高校生の娘さんからは、高校の国語の教科書をお借りした。いつもありがとうございます。

遠く埼玉の地で読んでくれている元教育実習生の方がいる。丁寧なお手紙をいただいた。お盆過ぎの頃だったか、わざわざ会いに来てくれた。いっぱいお話をした。ソフトテニス部の教え子たちがいる。この紙面から何かしらの影響を受けているようだ。梁川高校に勤務していたときに、再会できた中学時代の恩師がいる。うれしかった。私にとっては、昔も今も高い壁である中学時代の恩師がいる。この先生の文章から刺激をいただいている。以前、勤務した金山町の先生方にも読んでいただいている。たまに、連絡をいただくと、うれしくなる。

市内の校長先生、以前からお付き合いのある校長先生からは、お会いすると、コメントをいただくことがある。励みになる。そして、毎日、欠かさず読んでもらっており、定期的に、私に貴重な資料を提供してくれている先生がいる。この先生の文章がいい。スポーツ、特に野球のことになると熱い。これからも、よろしく申し上げます。

他にも、たくさんの方に読んでいただいている。何ともありがたい。今回、紹介した皆さんの多くは、この紙面に登場していただいた方である。これから登場していただく方もいる。立場上、読まないわけにはいかない方もいる。家人である。大変だろうが、お付き合いください。

不特定多数に向けて書いている。だが、実際には、ある特定の読者のことを意識して、想定して書いていることが多い。それが、今回、紹介した皆さんである。読者に支えられて、この「校長室だより～燦燦～」はある。そのことを再確認して、また前に進んでいく。